

農業市場学授業計画（平成16年度）

授業科目 (授業科目英文)	農業市場学 Agricultural Marketing
授業形態 必修・選択の別 開講期 担当教官所属氏名 教官連絡先 オフィスアワー	講義 必修(農業経営経済学コース)選択(森林管理学コース) 3期 生物生産学科・農業経営経済学講座・岩元泉 285-8626またはizumi@agri.kagoshima-u.ac.jp 毎週金曜日1:00-3:00
授業概要	世界の農畜産物の需給動向・流通構造を理解させながら、我が国の農産物流通の状況を学ばせる。流通システム、流通チャネル、マーケティング戦略の基本的な概念を学び、農産物流通の実態に合わせて応用する。農産物の生産から販売に至るまでの戦略の立て方を学ぶ。
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市場構造・流通システムなどの基本概念を学ぶ 2. 流通システムを理解するために、流通関連用語を学ぶ。 3. 世界の農産物流通構造を理解するために卸売市場制度を比較する。 4. 農産物のマーケティングを学ぶ。
学習順序	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農業市場学とは・リテラシーチェック(4月14日) 2. 農産物需要の変化(4月21日) 3. 流通の仕組みはどうなっているか?(4月28日) 4. 卸売市場の制度はいま危機に!(5月12日) 5. 食肉の流通は(5月19日) 6. 花の流通はどうなっているか(5月26日) 7. 米の流通(6月2日) 8. 農産物の価格は高いか低いか?(6月9日) 9. 食品産業(6月16日) 10. 食品の品質表示は確かなか?(6月23日) 11. 食の安心・安全と農産物流通(6月30日) 12. 農産物をマーケティングする(食品小売業-7月7日) 13. 協同組合で農産物の取引をする(農協・生協-7月14日) 14. 生産者と消費者が直接取引をする(多元的流通システム・産直-7月21日) 15. 期末試験(7月28日)
評価 (各評価項目とその 評価比率を示す)	<ol style="list-style-type: none"> 1.出席(40%) 2.期末試験(60%)
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1.参考書:日本農業市場学会編「現代卸売市場論」(筑波書房) 2.今週のキーワード 3.出席票・授業内容に関する質問